

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団前首席クラリネット奏者 Prof. Peter Schmidl

ペーター・シュミードル客員教授 演奏と公開レッスン



ペーター・シュミードル客員教授は（Peter Schmidl）1942年、オルミッツ（現チェコ領）生まれ。祖父と父と3代にわたってウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の首席奏者を務めた。ウィーン国立音楽大学でルドルフ・イエッテル教授に師事し、その後アルフレート・ボスコフスキーに師事している。1965年にウィーン国立歌劇場管弦楽団、1968年にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に第1クラリネット奏者として入団、1982年より第1首席奏者となり、2013年までウィーン・フィルを代表する名手として活躍。ウィーン・フィル、パリ管弦楽団、ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団、NHK交響楽団、指揮者のベーム、ムーティ、小澤征爾と共演。バーンスタインとのモーツァルトの協奏曲は伝説的な名演としてCDにも残っている。DGなどに多くのCDの録音がある。ザルツブルク功労金勲章、オーストリア芸術名誉十字勲章、1967年よりウィーン国立音楽大学教授として教鞭をとり、優秀な後輩を育成、現在ではその生徒たちがウィーン・フィルを始め、世界の主要オーケストラで活躍している。草津国際音楽アカデミーに毎年招聘されている。2014年より本学客員教授に就任。（写真は2014年）

演奏

R・シュトラウス：ロマンス（ピアノとクラリネット編）変ホ長調

Richard Strauss (1864～194) : Romnze für Klarinette und Klavier

ルドルフ大公：ロッシーニの主題による変奏曲

Johann Rudolf Rainer Rudolph (1788～1831)

ピアノ：堀江真理子（ピアノコース教授）：*Prof. Mariko Horie*

公開レッスン（受講生未定）

2015 **7/15** (水) **16:30～19:00** 尚美パストラルホール

主催：尚美学園大学 芸術情報学部 音楽表現学科 管弦打楽器コース TEL.049-246-2700 (代)